

就任あいさつ（平成22年12月13日 就任式）

この度、市民の皆様の信託を受けまして、尼崎市長という重責を担うこととなりました、稲村和美です。改めまして、どうぞ皆様よろしくお願ひいたします。

本当に身の引き締まる思いと同時に新しい時代を皆様と一緒に切り開いていく、そして、私たちのこの尼崎市の挑戦をもう一步さらに進めて行く、新しい一步を踏み出すという決意を新たにしております。

私たちは今、成長社会から成熟社会へという大きな変化の真っ只中にあります。私はこの成熟社会という新しい時代は、私たちが本当の豊かさを見つめ、そして再構築していく大きなチャンスの中でもあると考えています。

尼崎市はご存知のとおり、アクセスに恵まれ、多くの産業が息づくまちです。地形は平坦で、私は今日も、自転車を押しながら、風を感じながらこの市役所に参りました。季節を感じながら、行き交う人たちと挨拶をかわしながら、環境にも優しい暮らしをしていける、そんな条件を兼ね備えたまちです。そして何より多くの変化を生み出してきた、大きな市民の力。この尼崎市には本当にたくさんの強みと魅力があります。私は皆様と一緒に、この尼崎の強みと魅力を活かして、「コンパクトで持続可能なまち」そして「信頼と分かち合いのまち」、私の原点であります「市民自治のまち」という、3つを目標として、成熟社会にふさわしいまちづくり、本当の意味で、安心元気な尼崎のまちづくりを進めていきたいと思っております。

皆様ご存知のとおり、尼崎市の財政は大変厳しい状況にあります。私はこの困難から決して目をそらすことなく、未来を見据え、そして責任ある行財政運営を進めていく覚悟で尼崎市長に就任させていただきます。

けれども、ここで改めて皆様と一緒に確認したいのは、この財政再建への道のりは決してそのものが目的ではなく、手段だということです。私たちの本当の目的は、成熟社会にふさわしい尼崎のまちづくりを進め、本当の意味で未来へ向けて安心して元気な尼崎をつかっていく。そのためにこそ必要な、私たちの取組だということです。

これは、私たちが誰かに押し付けられてやるものではなく、私たち自身が、私たち自身の未来のために取り組んでいかなければならない課題だと思っております。道のりは平坦ではないと思っております。けれども、尼崎の市民の皆様、職員の皆様を信じ、私はこの重責を担う決意をいたしました。皆様と一緒に、どんな困難も乗り越えていけると確信をしております。

底力のあるこの尼崎市からこそ、時代をリードする成熟社会にふさわしいまちづくりを進めていけると信じております。だからこそ皆様力が十分に発揮されるような、そんな市政運営に全力を尽くしてまいります。皆様と常に、目指すべき尼崎の未来の姿をしっかりと共有し、多くの意見に耳を傾け、そして十分に真摯な議論を尽くし、その上で、皆様

と合意した方向性については、しっかりと責任を持って取組みを進めてまいります。

私のモットーである「まず自分から」という言葉、クリーンで開かれた政治姿勢を貫くことはもちろん、皆様と共にこの尼崎市の未来を一緒に築いていくために、全力を尽くして頑張っております。どうか皆様、よろしく願いいたします。

平成 22 年 12 月 13 日

尼崎市長 稲村 和美